

## 長柄町部会の取組み状況

5月31日 第1回長柄町部会開催

議事

- ・対策先行検討地区（水上・徳増）の決定

7月29日 対策先行検討地区（水上）意見交換会

主な意見

- ・水上地域の被害が拡大しないことを前提に、農地等の湛水時間を長くして、ゆっくり流すことは、下流への影響も少なくできるため検討の余地があると思う。
- ・上流は自然河岸のため、侵食もあるので、一定の護岸整備は必要である。
- ・農林部局を含めたオール県庁で取り組んでいただきたい。

7月30日 対策先行検討地区（徳増）意見交換会

主な意見

- ・輪中提を設置した場合の、内水対策を良く考えて欲しい。
- ・対策の完了までは長期間に及ぶため、短期対策を早急に望む。
- ・計画段階での、説明会を実施して欲しい。

10月27日 対策先行検討地区（徳増）第2回意見交換会

主な意見

- ・全面的に協力する。浸水対策を前倒しできないか。
- ・輪中提により洪水の流れが変わり、悪影響がでないようによく検討してほしい。

11月26日 農地を利用した流域治水対策の協議

千葉県河川整備課、長生農業事務所、長柄町による第1回協議

- ・耕作放棄地→農地再生を行い、貯留も担う施設の検討。
- ・ため池利用

12月14日 長生農業事務所、長柄町による現地調査

## 12月23日 第2回長柄町部会開催 議事

- ・ 対策先行検討地区の浸水対策報告
- ・ 浸水対策（建築ルール・貯留・防災）について

令和4年第1回定例会（3月1日）に「※長柄町浸水警戒区域に関する条例」を上程予定。（1月21日議会説明会にて事前説明済）  
※河川整備が完了したのちにも、なおも浸水が残る区域において、新たな建築が行われた際に浸水被害を発生させないため、建築に関する制限を行うもの。

## 浸水被害を受けにくい建築ルール

- 令和元年10月25日の大雨は、特に一宮川上流域で観測史上最大の降雨となっており、河川整備後も、河川で流し切る事ができずに溢れてしまうため、部分的に防御する輪中堤等により、既存家屋等の床上浸水被害を防ぐ。また、輪中堤等の外の浸水範囲において、家屋が新築されると新たに浸水被害を受けるリスクが生じるため、浸水被害を受けにくい建築の工夫をルール化する。  
（1階床を想定浸水位よりも高くする／建築自体を禁止するものではない）

